

EIWA UNIVERSE

# 英和ユニバース



EIWA UNIVERSE

創刊号 (2009.9)

巻頭言	2
人間社会学科	3
地域福祉学科	4
現代コミュニケーション学科	5
食物学科	6
研究室紹介	7
学生課	8
ぼらんていあ広場	9 ~ 12
大学後援会	13
キャリア支援室	14 ~ 15
保健室	15
宗教センター	16 ~ 17
らいぶらりーず・さろん	18 ~ 19
学内ニュース	20

「英和ユニバース」は、(旧)学報、ボランティアセンターだより、図書館報、宗教活動報告「Community」を統合して誕生しました。名称は、公募により決定しました。年2回発行予定です。

※写真は、新館4階から見た富士山です。



SHIZUOKA EIWA



静岡英和学院大学  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

静岡英和学院大学短期大学部  
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

企画・編集 学報委員会  
<http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

TEL 054-264-8872  
FAX 054-263-4763

## 大学と地域の新たな連携をめざして

学長代行 志田 直正

最近では、大学と地域の連携とか、地域への大学の貢献とか、また地域に根ざした大学などと、大学と地域の関係に強い関心が向けられ、これに応える具体的な取り組みが盛んに求められています。また、そのもとで大学と地域の間で、さまざまな試みが展開されていることもよく知られています。この種の取り組みの成否に、これからの大学の存亡がかかっているとさえ言われています。

たとえば、地域の大学間の研究活動をとおした連携や、授業・単位や情報の交換、大学間ネットワークの構築、大学と地元産業や地域活動との協働をはじめ、大学の持つ人的、物的な資源（教員・学生等の人材や知識・技能・能力、大学の講義・講座や諸施設・機関等）の地域への貢献や還元などと、具体的に展開されている事業や試みは枚挙に暇がありません。

本学でも、これまでに、大学と地域の連携を求めて、実にさまざまな事業に取り組んできています。ここで本学では、このような大学と地域の関係をさらに強化し、幅広くかつ継続的に活動を展開していくことを目的に、地域協働推進機構を2007年度に設立しました。事業の推進に当たって運営委員会を組織し、この種の事業や取り組みの企画や計画を全学的に呼びかけてきています。

本学が推進しようとしている大学と地域の連携の主眼は、大学の基本的、第一義的な役割である、在学生に対する行き届いた教育機能が発揮できること、その基礎となる教員の研究活動に寄与しうること、これらが実現できる、大学と地域の協働であり、大学の地域への貢献であること、このような点に置かれています。この目的が実現できるような、創意工夫に満ち、個性豊かな大学と地域の協働の企画と実践が期待されています。



## 人間社会学科ニュース

2009年

第1号

## 課外活動のすすめ 中山瞳さん (静岡県立藤枝北高校出身、人間社会学科4年)

現在、私は島田市の観光大使である“さわやか島田”として地域活動をしています。観光大使に立候補したきっかけは、大学の授業を通して観光に興味を持った事にあります。授業で学んだ知識を実際に生かしてみたい、授業で出た内容を肌で感じてみたい、それによって自分の大好きな島田市をアピールしてみたい。そのような好奇心から、私は学校以外の課外活動にも力を入れるようになりました。

最近では、「スイーツの町藤枝」推進会議の方々と一緒に、スイーツを取り上げた有料ガイドブックの作成にも取り組んでいます。地域の大人と一緒にサークル活動をする機会や、自分達で企画し作成した冊子売る機会は滅多にあることではないし、私にとってこれは貴重な経験となるだろうと思っています。

もちろん、学内でやっているサークル活動や部活動でも自分の力を試す事はできたと思います。しかし、学校以外の課外活動においては地域の方々や、普段の生活では関わる事のできない方々と実際に会ってコミュニケーションがとれるというメリットがあります。この経験は、社会人になる前に絶対にしておいて損はないと思います。



中山瞳さんと『静岡英和学院大学がおくる藤枝タウンガイド 藤枝町の万華鏡』人間社会学科のカリキュラム「観光実習」(現「観光フィールドワーク演習(天野先生担当)」履修メンバー編集・発行の冊子。中山さんの活躍ぶりについては、詳しくはこの冊子の27頁、28頁に掲載されています。

## 就職活動と課外活動の関係：自己アピール！

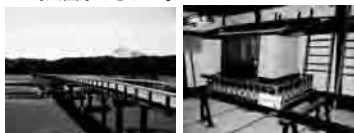
2009年3月1日、私は株式会社セレクトアイコンパニーから内定を頂きました。早い段階で内定を頂けた理由としては、課外活動の経験を生かすことができたからだと思います。履歴書には「現在、島田市観光大使“さわやか島田”として活動中」とも記入ができるし、観光大使の仕事を通して学んだ事や経験は自分の強みとして自己アピールすることもできました。また、

観光大使というのはとても珍しい仕事であるので企業側の興味を引く事にも繋がったのではないかと思います。実

際、面接の中で社長から「キミは観光大使をしているんだって？この仕事は毎日が親善大使のようなものだからね。これまでのように積極的に活動してくれるのなら会社側としても嬉しい」というお言葉を頂きました。企業にもよりますが、私を採用するにあたっては、積極性と可能性というポイントを見てくれたのだと思います。就職活動をするにおいて、自信を持つ事はとても大切な事です。今後も積極的に活動をし、自分を肥やしていきたいと思っています。



「島田髷祭り」にて。



## 英和人間社会学科のメリット：地元・幅広さ・時間

私は、人間社会学部人間社会学科に所属しています。これまでの学生生活で感じた英和のメリットは主に3つあります。まずは地元であるということ、幅広く学ぶ事ができる事、そして、自分の時間が多く持てることです。地元の学校に通う事で地域に大きく関わることができるし、幅広く学ぶ事で多くのアンテナを立てる事ができます。そして、自分の時間が持てることというのは学生ならではの大きなメリットだと思

います。その時間を有意義に過ごすことで、学生生活はより充実させることができます。今年からはCAP制の導入によって履修コマ数に上限がつくので、1年次から更に自由な時間を持つ事ができるようになるでしょう。空いた時間を資格取得や、アルバイト、学内学外での課外活動などに大いに活用し、勉学と課外活動の両立にぜひ頑張ってみてください。学生時代の経験は、きっと今後のためになると思います。



「藤の里観光大使」人間社会学科4年、鈴木沙耶子さんと。

本学には、アジアの国々からの留学生が多く在籍しています。今回、地域福祉学科で学ぶ2年生の邱麗菊さん（中国出身）と3年生のナンダー・マウンマウンさん（ミャンマー出身）の二人に、本学科を選んだ動機や将来についてインタビューをしました。また邱さんと交流のある遠藤有美さんにもお話を伺いました。

## 「地域福祉 学科から」 留学生インタビュー



### 少人数制ゼミナール形式で学習できることは、とてもいいです

私は、現在2年生です。兄も英和学院大学で学び2年前に卒業しました。私が、この学科で学ぶことになったのは、兄が私に「地域福祉学科が一番ふさわしい」と薦めてくれたからです。

実際、地域福祉学科の授業は、講義だけではなく福祉施設などでの実習があり、社会の現場に触れ、いろいろな面から学ぶ機会が多く、有意義な体験をすることができます。各学年において、少人数制ゼミナール形式で学習できることもとてもいいです。また、大学の先生は、どの学生にも親切に教えてくれ、先輩達も優しいです。日本人の友達もたくさんできました。キ

ャンパスには、安くて美味しいランチの食べられる食堂やコンビニや自動販売機もあり、便利な環境にあります。

卒業後は、できれば日本で就職したいと考えていますが、将来帰国したら、この大学で学んだことを生かし福祉分野で働きたいです。また、いつか老人ホームや保育施設を作りたいです。そのことを実現するために、いま大学で福祉の知識や技術を身につけ、豊かな人間に成長できるように、様々な学びを大切にしたいと思っています。（2年 / 邱麗菊さん）



邱さんとは、1年生の基礎ゼミで同じクラスになったことがきっかけで親しくなりました。はじめは言葉の問題を心配しましたが、同世代の友人と比べて、はっきりと正直に向き合って話してくれるのでとても学ぶことが多いです。また、学内のサークルやイベントを通していろいろな人と出会うチャンスが多く、いろいろな仲間作りを楽しんでいます。

（2年 / 遠藤有美さん）

「音楽の練習」（邱さんと遠藤さん）

### 世界中いろいろな国々で助けを求めている子どもたちのために

私は、地域福祉学科3年生です。この学科を志願した理由は、子どもの保育や福祉のことに興味があり、福祉の専門的な知識を身につけられるチャンスが多いと思ったからです。

実際、日本の福祉のあり方を学びながら、他の国の福祉のあり方も見えてきました。授業では、ミャンマーでは、学べないこと、また内容的に難しく理解できないこともあります。けれども、先生方の丁寧なご

指導をはじめ、学生同士お互いが助け合うことで、理解を深め合うことが出来ます。そのことは、とても感動的です。

将来は、児童福祉に関する仕事をしたいです。世界のいろいろな国々で助けを求めている子ども達、またミャンマーの子ども達のために今自分が学んでいることを生かしていきたいと思っています。

（3年 / ナンダー・マウンマウンさん）

# 現代コミュニケーション 学科からの報告

## 接客のプロをめざして

現代コミュニケーション学科2年

今村麻結



私はキャリア科目で初めて学んだホスピタリティがとても印象的で、将来、接客業に就くなら身につけたいと思い、調べてみました。この発表では、ホスピタリティがどういったものなのか、皆さんに分かって頂けるように心がけました。

初めに、ホスピタリティを日本語であらわすのに最も近い言葉とは何でしょうか。それは「心のこもったおもてなし」です。それでは、ホスピタリティの始まりは何だったのでしょうか。昔の巡礼や商人の旅を想像してみてください。ホテルやレストラン、コンビニなどのサービス産業は全く利用できません。その旅は、どれほど困難で危険に満ちたものか、理解できるでしょう。そんな時代の

旅行者のために旅先の人達が食事やベッドのおもてなしをしたことから始まったと言われてい

ます。では、ホスピタリティと

似た言葉を思い浮かべてみましょう。もともとホスピタリティのルーツは、ラテン語のホスピス、「客人の保護者」で、現代英語に派生した言葉にはホスピタル・ホテル・ホスピス・ホステル・ホストなどがあります。これらの語源からみても、ホスピタリティという言葉が、心・気持ち・思いやりに関わる大切な言葉ということが分かると思います。

続いて、ホスピタリティの様々な種類について説明します。一つ目は、働く仲間に対するホスピタリティ。働く仲間同士で個々を思いやると、挨拶を交わしたり、仲間の体調の変化にすぐ気付いたりして、職場には、明るい雰囲気生まれ、お客様も何か暖かさを感じるでしょう。二つ目

は、取り扱う商品に対するホスピタリティです。例えば、レストランのシェフが、料理に出す食材を思いやりの心を持たないまま選んだら、どうなると思いますか。恐らく、腐っている食材でも平気で出し、たちまちお客様がいらっしやなくなるはず。三つ目に、部下の教育・訓練に対するホスピタリティ。「この人を良い人材になるように育てよう」そんな愛情を持って教育をしたり、受けたりしたいですね。

ホスピタリティは、頭で分かっても行動としてすぐには現れません。まずは、友達・家族・アルバイト先の人に対して思いやりや心遣いを持ちましょう。ホスピタリティを調べて、私は接客のプロになれるように明るい挨拶をしたり、相手が困っていたら親身になって接したり、常に心配りをしていきたいと思いました。みなさんもホスピタリティを実行してみませんか。

\*2008年度現代コミュニケーション学科プレゼンテーション・コンテスト最優秀賞受賞者

# 食 Food Science 物

## 食物学科って何をするの?

食物学科では、基礎科学、生理学、栄養指導、調理実習、食品学実験などさまざまな食に関する科目を勉強しています。今回はその一部の調理実習について紹介したいと思います。

調理実習では、包丁の使い方から、器具の使い方、野菜の下準備...など、調理の基礎技術を身につけていきます。今まで、あまり包丁を握ったことのなかった人もいましたが、回数を重ねるごとに、慣れていきます。また、作るだけでなく、このメニューは、どのくらいのエネルギーなのか?食品成分表を片手に、自分たちの手で栄養価計算も行います。日常的に、食べ物と関わるが多くなり、食に対する知識も身につけることができます。



このメニューは、洋風料理。きのこのスパゲティ、サラダ、鶏肉のパピヨット、デザート。美味しかったです。



## 聞いてみよう! 突撃インタビュー

実際に、学生にインタビューをしてみました。今回は、食物学科2年生で、大学の近くに住んでいる学生に話を聞いてみました。

Q1 通学方法は?

A1 自転車・徒歩

Q2 英和に入学してビックリしたこと

A2 授業の多さ・キリスト教

Q3 最近不安だったことは?

A3 定期テスト。でも、友達のおかげでなんとか乗り越えられた!

Q4 好きな教科は?

A4 調理実習

Q5 メッセージをください!!!

A5 毎日楽しい!みんな学校にいるし、おもしろくて楽しい仲間がいる。あと、1年はあつという間でした。

ご協力ありがとうございました。



## 調査隊 アンケート

食物学科の学生にアンケートをしました!

テーマ「印象強い実験」

1位 ラットの解剖

ほとんどの人が、これでした。命の尊さや深さが感じられた実験でした。

2位 呼吸・尿の実験

自分の尿を採取・検査する、マスクをつけてバッグを背負って走るなどの、体を張った実験でした。

学生さん、ご協力ありがとうございました。



最近の出来事 編集者：食物学科2年 梅澤孝子

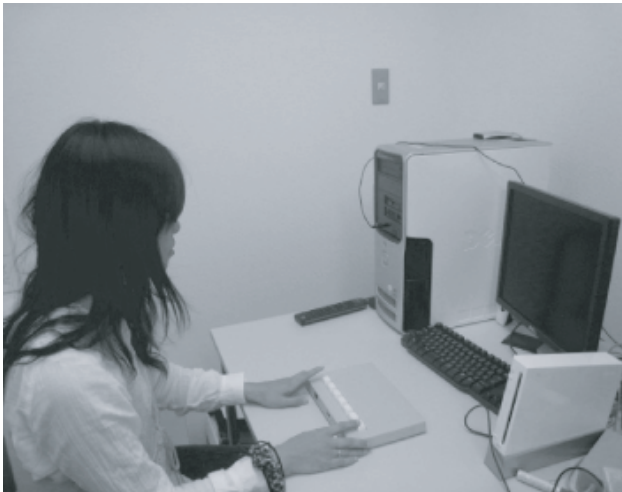
食物学科の2年生は、6月の校外実習も無事終了し、就職活動が本格的にスタートしました。この1年間勉強してきたことが生かせるだろうかと、不安な気持ちでいっぱいですが、残り少ない短大生活を充実させようと日々、努力を重ねています。そんな今日この頃でした。



# 研究室訪問 第1回

## 人間社会学科

### 日比優子研究室



今回は、英和学院大学人間社会学科の日比優子先生のお話を伺いました。先生の専門は、注意の認知発達心理学です。人ごみの中から友達を見つけたり、ちらかった部屋で教科書を探したりするときに、私たちは効率よく注意を移動しています。私たちがどのように物を探しているのかなど、日常生活の中で疑問に思ったことを、実験や調査で調べています。最近では、乳幼児や発達障害児、大学生や高齢者を対象として、コンピューターを使って複数の物の中から探したい物を見つける課題を用いて、ものの探し方を検討しています。大学生は、目立つものを瞬時にぱっと見つけたり、目立たないものをじっくりと探して見つけたりすることができます。一方、発達障害児や高齢者は、大学生とほぼ同じように、目立つものは瞬時に見つけることができますが、目立たないものを探す時には間違えたり困難を示したりします。発達障害児や高齢者がどのような状況で物を探すのが難しくなるのかを調べることによって、彼らが過ごしやすい環境を作るお手伝いできればと思っているそうです。

一般的に、心理学と言えば臨床心理学を思い浮かべ

るでしょう。高校生の時は、漠然と心理学に興味を持ち、先生も臨床心理学を学ぼうと大学受験をしたそうです。大学入学後、見たり聞いたりしたことが、どのように人の行動や心を変化させるのかを、基礎的な実験や調査で詳細に検討する認知心理学を学びました。心に関する何らかの問題を抱えている人たちは、私たちが見る世界とは全く異なる世界を「見ている」かもしれません。彼らがどのような世界を「見て」過ごしているのかを、まずきちんと理解することは、彼らが抱える問題を明らかにするために欠かせないアプローチです。

心の病が広がる昨今、臨床心理学は誰しも興味があるかと思います。しかし、いきなり臨床心理学を学ぶとなると、しっかりとした基礎を固めていないうちは、やみくもに心の闇に関わり過ぎて色々な問題が起こってしまうそう。そうならないためにも、先生は基礎的な心理学である認知心理学や発達心理学を学ぶことが大切であると仰っていました。基礎を学ぶことで、新しい道を見つけることができるかもしれません。なんとなく心理の道を考えているなら、認知発達心理学に楽しく触れてみるころから始めませんか？

(3年生 寄持理菜さん)



## 2009年3月卒業生から後輩 へのメッセージ

## 学生課から

### 《大学》

○大学生活は自分のやる気でもどのようにも変化します。やり残すことがないように、何にでもまずは挑戦してみると良いと思います。

○社会人になれば自分の時間が限られてしまうので、今のうちに勉強やサークル活動そして遊ぶことも充分に行ってください。

○振り返るとやはり短く感じる。今しかやれないことはやっておかないと後悔すると痛感した。そして、卒論は計画的に進めないと、痛い目を見るのは自分だと思った。思ってからだと遅いと思うので、頑張ってください。

○勉強も大事だが、サークル活動か学友会活動に頑張りたい。人脈が広がり学生生活は充実するはず。

○色々なことに挑戦して、色々な所へ旅行に行って、広い視点で物事を見られるように頑張ってください。

○就職活動は余裕を持って行ってください。

○自分の目標をきちんと立て、目標に合わせて授業を取りましょう。

○4年間は、今振り返ってみるととても短かった。最初の1~2年は、不満がいっぱいでしたが、あとの2年間は変化がありました。周りに合わせることも大切ですが、一人ひとりの"個"をもっともっと活かしてください。

○大学生活は自分の積極性の有無によって変わります。やりたいこと、興味あることには、首を突っ込む、手を出すことで経験に繋がります。それが出来るか出来ないか、が大事だと思います。あとは、人を大事にすることで、社会に必要なコミュニケーション能力を学んでください。

○大学では良い友達を作ってください。

○社会福祉士を受ける場合は、早めに勉強を始める方がいいです。今年は、あまり過去問あてにならなかった。

○素敵な仲間と出会えとても充実していました。後輩のみんなにも仲間を大切に、楽しい学生生活を送って欲しいと思います。

○自分が興味のない授業や資格でも取っておいて損はないと思います。受けてから興味を持ったり魅力を感じたりということが多くありました。

○大学は専門的なことを学べる場であり、プラス時間を自分のために使うことのできる時です。大学の4年間だからこそできることがたくさんあります。自分なりの目標を立てて、充分楽しんで欲しいと思います。

### 《短大》

○2年間はあっという間に過ぎました。いろんなことに首を突っ込んで、時間を有効に使ったらいいと思います。

○大学生活を充実させることは、これからの人生の糧になるし、役立つと思うので楽しく過ごし、いろいろなことに挑戦してください。

○英和の新校舎キレイなので、良い環境でガンバって勉強してください。

○2年はあっという間だから、やりたい事を早く見つけておいた方がいい。

○あまり努力できなかった授業があったので後悔しています。食物の授業内容は、今後、日常生活で使えるものが多いので、より多く知識を身に付けていってください。

○短大生活2年間は本当にあっという間に過ぎてしまいました。しかし、2年間とても成長ができました。いろいろなことを自ら進んで行動し、悔いのない2年間を過ごして欲しい。

○就職活動は早く始めるにこしたことはないですが、遅れてしまっても焦らず諦めず頑張ってください。2月くらいでも努力すれば良いところが見つかると思います。

○食物学科は1年の時はとても忙しいけど充実した毎日が送れると思う。2年になればコマに余裕があるので、気を抜かずに勉強の方を頑張ってください。あと2年間はとても短く、あっという間にすぎるので学生生活を楽しんでもらいたいです。



# 英和生のボランティア活動を応援するページ

# ぼらんていあ広場

静岡英和学院大学・英和学院大学短期大学部は、  
 学生の皆さんのボランティア活動への参加を  
 積極的に応援しています！  
 貴重な学生生活を充実したものとするため、  
 何か思いを込めて取り組める活動を  
 探してみませんか？

静岡英和学院大学ボランティアセンター



### 英和には・・・

ボランティア相談の窓口・学生活動の拠点として英和  
 ボランティアセンター（ボラセン）があります。

### ボランティアセンターには・・・

英和生の活動を、同じ学生の立場で応援する学生スタ  
 ッフがいます。

### ボランティアセンターは・・・

教職員で組織するボランティア委員会が基盤を作って  
 います。

大学内にボラセンがある  
 のは全国でも100校くらいも  
 身近にあるボラセンを  
 大いに活用しましょう！

ボラセンの場所は、  
 図書館棟の2F。  
 平日10時～18時OPEN!  
 気軽にお立ち寄り下さい！

活力ある大学ボラセン  
 とするために奮闘中！  
 様々な形で皆さんに情報や参加の  
 機会を提供してるので、  
 ぜひご協力を！

新館1Fラウンジに  
 ボラセン情報の掲示版が  
 あります。マメにチェックして、や  
 りたい活動があったら積極的に  
 参加しましょう！

仲間として  
 一緒に活動してくれる方、  
 大歓迎！  
 企画力・統率力など  
 いろんな力が  
 身に付きますよ！

## ボランティア委員からのメッセージ

### ボランティア委員長

しらやま

白山靖彦先生（地域福祉学科）



ボランティアというと、  
 何か大変な事をするみた  
 いに思われますが、住ん  
 でいる地域や学校で古紙  
 を集めたり、好きな音楽  
 を奏でたり、保育所の子  
 どもと触れ合うなど気軽にできるものも  
 たくさんあります。「人の役に立ちたい」  
 という方、いっしょに活動しませんか。

植田智也先生（地域福祉学科）



君がとなりの人を大事に  
 すれば、となりの人も君  
 を大切に思う。  
 君と彼（女）は、きっと  
 ひとつのよるこびを分か  
 ち合える。

伊勢田奈緒先生（人間社会学科）



「自分自身を愛するよう  
 に隣人を愛しなさい」  
 を心にもって、一緒に頑  
 張りましょう！

大洋和俊先生（現代コミュニケーション学科）



ボランティア活動は自分  
 と他者の「思い」を共有す  
 る場です。見知らない人  
 と話し、共に体を動かす  
 ことで「偏見」がなくなり、  
 新しい世界、新しい自分  
 を発見することができます。損得を越え  
 て行動する。そこに大学・短大部での自  
 分の価値を見つけてほしいと思います。

鈴木恵子先生（人間社会学科）



ボランティア活動をいつ  
 かやってみようと思っ  
 ている方、その「思い」を  
 今年は「行動」に変えて  
 みませんか？

木下ゆり先生（食物学科）



学生時代から、エイズの  
 患者さん達を支援する団  
 体に関わり続けています。  
 ボランティア活動は、い  
 ろんな出会いや発見があ  
 りますよ。

原川由美子（ボランティアセンター）



みなさんの「やってみ  
 たい！」という気持ちを  
 応援します！気軽にボラ  
 センに来て下さい！

# あなたも一緒に活動しませんか？

## 子ども・青少年たちと

### Bambi

児童福祉施設で暮らす子どもたちの学習支援を行っています。毎週1回訪問する曜日を決め、担当の子どもさんの勉強をマンツーマンでみます。勉強に集中できる環境の少なかつた子どもたちにとってはお兄さんお姉さんが一緒にいてくれることは励みになり、勉強に向う意欲も変わってくるようです。

### 静岡地区BBS会(BBS = Big Brothers & Sisters movementの略)



非行少年の立ち直り支援を行っています。月1回の駿府学園(少年院)訪問では、翌月退院する少年たちと、バレーボールやテーマを決

めた話し合いなどで交流しています。また『ともだち活動』では様々な問題を抱えて生きる少年たちの話し相手になったり、一緒に買い物や外出をし、彼らの健全な成長を見守るお手伝いをしています。

## 環境・緑化

### ミリユ

学内で古紙回収を行っています。リサイクルを通して、環境のことなど考えてみませんか？各自、可能な時に回収・分別作業をやっていきます。1~2か月に1回の業者さんへの引き渡しでは、毎回1~2トンの紙がトラックに積み込まれます。



### グリーンボランティア

学内の中庭の花壇やプランターに花を植え、水やりなどを行う緑化活動をしています。また、地域交流活動として、

英和生の活躍するグループは、学内・学外にたくさんあります。関心のある分野で活動を見つけて、ぜひ仲間に加わって下さい！

高齢者施設でフラワーアレンジメント教室のお手伝いをしたり、保育園児たちと花の植え替え作業なども行い、緑化推進活動にも参加しています。

## 障がいのある方たちと

### 沿津のぞみの里

施設で行われる行事の手伝いや、利用者さんたちとの交流の場に参加しています。お祭りや流しそうめんなど、施設の恒例行事では、売り子や裏方として大活躍。夏のバス遠足では、職員さんと一緒に大学生がプログラムを考え実施しています。

### ぴーすくる

障害のある子どもたちの余暇支援活動を行っています。これまで、『児童館でワンデイキャンプ』や『豆まき交流会』『豊中吹奏楽部コンサートを楽しもう』を実施。楽しく交流するとともに、特別支援学校の見学や、保護者の方々との意見交換会なども企画し、障害についての理解を深めたり、またよりよい活動を作るための研修の機会も作っています。

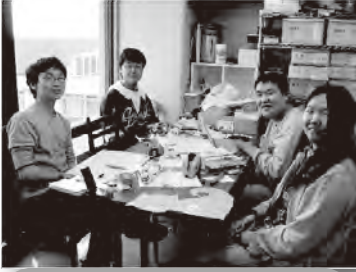
### ファイト

障害のある子どもたちの余暇支援活動を行っています。藤枝で活動する障害児余暇サークル『たますだれ』さんの活動に参加し、イチゴ狩りやウォーキングなどを一緒に楽しんだり、またメンバーで独自の企画を考え実施しています。昨年の夏休みの独自企画では、みんなでジャム作りをしました。1~2か月に1回程度の活動ですが、毎回子どもたちと楽しく過ごしています。

行事やイベントでも活躍の場はあります！託児、施設の夏祭りや行事、障害者スポーツ大会、子育て支援イベントなど、大学生のかかわりを求めている場所はたくさんあります。情報は、掲示板やチラシ、ポラセンで見つけてください。



# ボラセン&ボラセン学生スタッフの動き



学生スタッフ'09年度は4人でスタートです！関心のある方、ぜひ一緒に活動しませんか？

ボラセン学生スタッフは、英和のボランティア活動を盛り上げるため、ボラセン職員とともに活動しています。

'08年度後期は、楓祭への出展、ボランティアチャレンジ講座およびボランティア交流&報告会を開催しました。それぞれの開催の様子をご紹介します。



## 楓祭 ボランティア展

11/8・9

ボランティアグループによる活動紹介の展示、マイ箸&エコキヤンドル&バルーンアートの体験コーナー、「絵本を届ける運動」に取り組むグループのクラフト販売、福祉施設の皆さんによる製品販売など、盛りだくさんの内容で出展しました。多くの来場者の皆さんに関心を持って見ていただくことができ大好評でした！

## ボランティア チャレンジ講座

11/25・27

ボランティア活動に役

立つ知識や技術を学べる講座を開催していま

ボランティアセンターでは、地域の方々から寄せられる募集情報を皆さんにお知らせし、参加を希望する学生さんとの調整を行っています。

'08年度は、81件の活動先に320名が参加してくれました。定期的に活動する人達もあり、延べ人数にすると実に多くの英和生が各所で活躍してくれています。

す。後期は、HIVに関心を持ってもらえるよう、『世界エイズデー』に合わせて開講。食物学科の木下先生に講師を務めていただき、HIVの基礎知識を学びました。

## ボランティア 交流&報告会

12/17

## ボランティア 募集説明会



学生の参加を求める施設や関係機関、団体の方々に直接説明会を開いていただく機会も随時作っています。

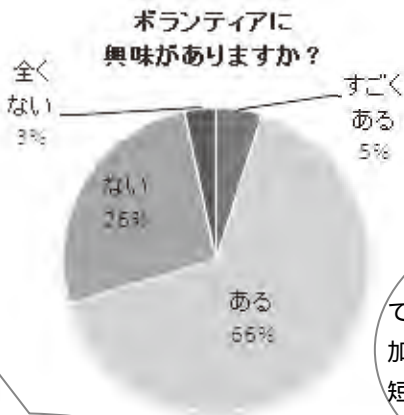
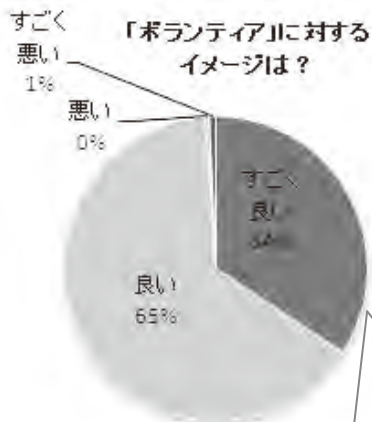
10月には、静岡家庭裁判所が募集する『学生ボランティア』の募集説明会を行いました。

ボラセン学生スタッフに関心のある方は、気軽にボランティアセンターまでどうぞ！

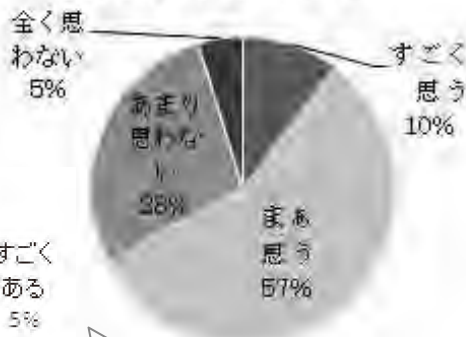
ボランティア活動に参加する人たちの情報交換や交流ができるよう開催。食事をしながら、他のグループの報告を熱心に聞き、またレクリエーションでは楽しく交流しました。

# 今年の新生はボランティア活動をこう考えている!

4/8~10に山中湖で行われた新生学生・リトリートで、ボランティアに関するアンケートを実施しました。イマドキの若者はボランティアをどう捉え、どう考えているのでしょうか?今回はそのアンケートの中から3つの項目について、1年生全体の集計結果をご紹介します。そこから皆さんはどんなことを感じるのでしょうか?



これからボランティア活動に参加したいと思えますか?



ほとんどの人が、ボランティアに対しては良いイメージを持ってくれていることがわかり安心しました。でも「良い」と思っているだけでも、行動は別!なのですね?

ボランティアに興味を持っている人の割合が約7割。そして7割弱の人たちが、これから活動に参加したいと答えています。大学・短大生時代にぜひ活動の機会を得て、よい出会い・経験ができるといいですね。

回答: 273名 (回答率98%) (\* 学科別集計やその他の項目はまた別の機会にご紹介させていただきます。)

## ボランティア情報!



### クリック募金を知っていますか?

パソコンや携帯を使って、個人の負担なく簡単に募金に協力できるシステムが、「クリック募金」。

ホームページの関連サイトを開くだけで、その開かれた回数に応じて企業が私たちの代わりに募金をしてくれます。

環境保護、国際協力など、分野は様々。

たとえば、「コスモ石油」では、「熱帯雨林保全」や「シルクロード緑化」などの8つの環境活動に対し寄付。「エイブル」では難病の子どもとその家族をサポートする『ファミリーハウス』と途上国の子どもたちにワクチンを届ける『世界の子どもたちにワクチンを 日本委員会』を応援しています。

このページを開いて、応援したい活動や団体を見つけたら、ぜひ「クリック」を日課にしてみは?

クリック募金HP : <http://www.dff.jp/>  
 イーココロHP : <http://clickbokin.ekokoro.jp/>

## 09年度のボラセンの活動

- 4月 ボランティア募集合同説明会
  - 5月 ボランティアグループ体験ツアー  
先輩達に関わる活動にまずは行ってみよう!
  - 6~7月 ボランティア活動推進週間  
セミナーや実践の場を提供していきます。
  - 11月 楓祭出展
  - 12月 ボランティア交流&報告会
- この他、全学的にボランティア活動に取り組む事業や、学生スタッフとの協働でボランティア・チャレンジ講座などを随時実施していきます。

## ボランティアセンター

場所: 図書館棟 2F

OPEN  
月~金 10:00~18:00

TEL/FAX  
054-264-9484



[http://maple.shizuoka-eiwa.ac.jp/Christ/v\\_default.htm](http://maple.shizuoka-eiwa.ac.jp/Christ/v_default.htm)



# 大学後援会コーナー

2009年5月15日に大学会議室において2009年度第1回大学後援会理事会が開催され、「2008年度事業報告及び決算について2009年度事業計画及び予算について2009年度役員選出について」を審議し、それぞれ承認されました。

## 2008年度 事業報告について

### 1. 役員会等会議開

#### (ア) 理事会の開催

##### 第1回理事会

日時 2008年4月18日(金)

場所 静岡英和学院大学 大会議室

##### 第2回理事会

日時 2008年11月17日(月)

場所 ホテルプリヴェ静岡ステーション

### 2. 施設整備充実のための事業助成

- ・トイレ改修(図書館)
- ・学生相談室備品整備
- ・新校舎食堂食器等整備
- ・校内喫煙場所整備
- ・学内全般緑地管理(樹木等)
- ・新校舎建設支援事業 等

### 3. 広報事業への助成

屋外広告助成

### 4. 大学後援会「会報」発行事業

会員への配布(第8号 2008年7月1日発行)

### 5. 研究活動助成

国際交流事業への助成

### 6. 学生活動事業への助成

- ・クラブ活動への助成
- ・クラブの公式試合、発表会等参加へ助成した。

- ・奨学金給付事業。
- ・学友会活動、楓祭に助成した。
- ・卒業生に電波時計を贈呈した。

## ◇2008年度決算及び2009年度予算について 収入の部 (円)

科目	前年度決算	本年度予算
会費	33,930,000	29,400,000
利子収入	23,118	24,578
繰越金	13,621,803	11,305,422
計	47,574,921	40,730,000

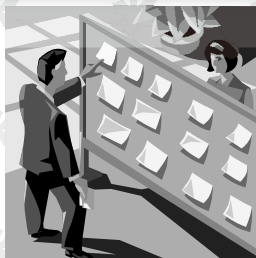
## 支出の部 (円)

科目	前年度決算	本年度予算
会議費	350,000	350,000
役員会費	350,000	350,000
事業費	35,525,422	38,260,000
施設設備費	14,898,694	23,000,000
広報関係費	1,827,041	2,000,000
会報発行費	238,800	460,000
研究費	1,000,000	1,000,000
福利費	0	500,000
学生費	7,530,887	10,000,000
文化活動費	0	1,000,000
新校舎建設支援費	10,000,000	0
慶弔費	30,000	30,000
事務費	110,003	250,000
事務費	49,180	60,000
消耗品費	3,623	70,000
通信運搬費	19,530	20,000
印刷製本費	0	30,000
渉外費	37,670	70,000
特裁支援費	0	1,000,000
雑費	0	100,000
予備費	300,000	770,000
計	36,269,499	40,730,000
翌年度繰越額	11,305,422	0
合計	47,574,921	40,730,000

## ◇2009年度大学後援会役員

役職名	氏名	学生の学科・学年	役職名	氏名	学生の学科・学年
会長	池田 恵一	地域福祉4年	理事	川島 幸子	現代コミュニケーション2年
副会長	加藤 正人	人間社会3年	同	境田 和子	食物2年
同	前田 有香	現代コミュニケーション2年	同	牧野 邦美	食物2年
会計	成岡 洋子	人間社会4年	同	斉藤 昌子	人間社会学科1年
同	米津 尚	(事務部長)	同	松風 久美子	人間社会学科1年
常務理事	平口 嘉代子	地域福祉3年	同	望月 和美	人間社会学科1年
同	市川 みどり	地域福祉4年	同	坂本 美代子	地域福祉学科1年
同	有馬 ひろみ	地域福祉2年	同	高橋 秀子	地域福祉学科1年
同	次廣 由己子	地域福祉2年	同	海野 深雪	現代コミュニケーション1年
同	久保 悦子	現代コミュニケーション1年	同	新里 俊子	食物1年
理事	小山田由美子	人間社会4年	監事	中村 恵美	人間社会3年
同	池谷 せつ子	人間社会2年	同	杉山 悦子	人間社会2年
同	杉山 善美	人間社会2年	顧問	望月 秀城	
同	大石 真琴	地域福祉2年			

# キャリア 支援室より



はじめに

キャリア支援室の「キャリア」とは一体何なのか。説によると、キャリアとは「車の轍」を意味するギリシャ語が語源で、それは一人の人間の連続した生きる道である。つまり「キャリア」は現在では全ての人の「人生」のことを意味するようになりました。そして、大学が学生に対して行う「キャリア支援とは、変動の激しい社会をいかに生き抜いていくかという能力を身につけるための支援」だと意味付けています。本学のキャリア支援室は、B棟（別館）

2階にあります。主な業務は、学生の人間力・職業基礎能力の向上を支援。就職相談・就職指導・求人の開拓等です。業務の流れを表に示してありますので参考にしてください。

## 2009年3月卒業生より

### エントリーから内定を得るまで

#### 人間社会学科

「考えて動く」

前田 和人（静岡中央銀行）

私は、就職活動の中で計画性と実行を意識して動きました。そして、業種を三つほどに絞り込んだうえで、できるだけ志望順位の低いものから選考を受けていきました。そうすることで後に控える志望順位の高い業種の前に筆記試験や面接に慣れることができるからです。就職活動は企業に自分を売り込むことですから、せめて自分の持っているものを十分にアピールできる力を身につけて望みたいものです。そのために自分のやるべきことを把握し、実行に移すことが何より大切です。

「就職活動で心掛けたこと」 寺尾 あずさ（遠鉄トラベル）

私が就職活動を行うにあたって心掛けていたことは、とにかく早めに動き出すということでした。その理由は、早く動き出すことによりいろいろなことが経験でき、視野が広がると思ったからです。合同説明会には11回参加し、一回一回得るものは必ずあると感じました。やりたいことのヒントが見つかるし、見つからなくてもこの業種は向いていないという発見がありました。

エントリーシートを書くことや、面接を受けることはある程度場数を踏むことが良いことだと思います。積極的に受けて、自分らしさを出せるようにすることが大切だと思います。

最後に、一番大切だと思うのは、熱意を持って臨めば自分に合う企業が見つかりますし、結果が良くななくても縁がなかった、自分には合わなかったと次への切り替えができると思います。

#### 地域福祉学科

「私の就職活動」

増田 貴史（静岡市立公立保育園）

私の就職活動は、公務員を第一希望としていました。面接

や筆記試験の練習や慣れが必要だと思ったので、企業や施設の面接を受けたり、公務員の筆記試験をいくつか受けました。そのおかげで保育士の一次試験や、集団、個人面接を冷静に対応することができました。私の友達は、早めに内定をもらっていて自分だけ決まっていないう不安がありましたが、焦らず勉強を繰り返しやっていたら、力がついてくると思います。就職活動はたいへんですが、頑張ってください。

#### 現代コミュニケーション学科

「私の就職活動」 望月 志緒梨（ANAエアサービス東京）

私が内定をいただいた会社は、ANAエアサービス東京という成田国際空港で旅客サービスを行う会社です。就職活動を本格的に始めたのは年が明けてからで、私は航空会社に絞って就職活動をしていました。採用試験が活発になる4月頃までは、各地の空港に実際に足を運び、会社説明会に参加し、雰囲気や自分の目で確かめていました。また、並行して自己分析や企業研究も進めました。

合格の連絡を頂いたときは、長年の夢を叶えられた達成感を味わうことができ、たいへんうれしく思いました。

#### 食物学科

「私の就職活動」

河本 静香（SSKフーズ）

私が就職活動を始めたのは、大学での就職講座の始まった一年生の終わり頃でした。

初めの頃の私は、厨房に立つシェフや、産婦人科の栄養士、病院の栄養士など様々な道を考えていました。そのため、実際に調理補助のアルバイトを始めたり、日々、就職センターに足を運び、求人を探すなど活発に活動していました。

そんな6月の初め頃、就職センターから「食品会社の栄養士職で品質管理の仕事がある。」との連絡をいただきました。条件も良く、実験系の仕事にも興味があった私は、そちらを

受けさせていただくこととなり、それからは就職センターの方々のサポートもあり、無事、内定をいただくことができました。

私が、こうして無事に就職を決められたのは日々の勉強の成果と、就職センターの方々の手厚い御協力によるものだと思います。

【まとめ】

昨年、静岡新聞社が県内大学・短大を対象に実施したアンケート調査で、2010年春卒業予定者の就職活動について「とても厳しくなる」との回答が76.5%に達し、「やや厳しくなる」とした17.6%と合わせると、ほぼすべての大学・短大が状況の悪化を予測していることが分かった。(2008.12.16 静岡新聞)

間)

これは、昨年9月以降のアメリカ発の金融危機・世界同時不況の影響を受け、企業に採用抑制の動きが広がったことが原因である。

新規学卒者に求められるものとして、「コミュニケーション能力」「チャレンジ精神」「主体性」「協調性」等です。学生の皆様は、自分の進路・将来を具体的にイメージし、早くから就職活動を始めてください。保護者の皆様におかれましては、人生の先輩として「働く意味」「働く喜び」「働くということ」について、機会あるごとにお話くださればと思います。就職活動が上手く運び、所期の目的が達せられることを願っています。

2009年度 管理栄養士国家試験受験準備講座のお知らせ

今年度の管理栄養士国家試験受験準備講座の概要が決まりました。期日は9月26日、10月10日、11月21日の3日間で、8月17日より受付を開始する予定です。(詳しくは、[http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/junior\\_c/index.html](http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp/junior_c/index.html)に掲載します。)食物学科卒業生の皆さんの受講をお待ちしています。

2009年度 管理栄養士国家試験受験準備講座 開講予定

日 程		内容及び担当者(敬称略)	
9月26日(土)	10:20~12:00	「人体の構造と機能 及び 疾病の成り立ち」	(堀江 信之)
	13:00~14:40	「社会・環境と健康 ～ 公衆衛生学」	(金田 一秀)
	14:50~16:30	「基礎栄養学」	(望月 和樹)
10月10日(土)	10:20~12:00	「臨床栄養学(基礎編)」	(木下 ゆり)
	13:00~14:40	「臨床栄養学(応用編)」	(木下 ゆり)
	14:50~16:30	「調理操作と栄養」	(五藤 泰子)
11月21日(土)	10:20~12:00	「食べ物と健康 ～ 食品学一般」	(小國 伊太郎)
	13:00~14:40	「公衆栄養学」	(杉本 富士子)
	14:50~16:30	「給食経営管理論」	(高橋 令子)

スケジュールは講師の都合により、変更になる場合があります。

保健室から

「健康」とは、肉体的、精神的及び社会的に調和のとれた状態であり、単に疾病または虚弱の存在しないことではないと世界保健機関の定義にある。また保健という言葉には健康を保つだけでなく、増進するという前向きな意味が含まれています。

現代の医学は治療から予防医学へと重点が変わってきました。このため健康診断は大きな役割を持っていると考えます。

近年社会環境の変化とともに、「心とからだ」の健康問題が多様化し学業や生活等に関係した面で不適応を生じ、心理的悩みを抱える学生が増加しているように思います。

保健室では学生・教職員の健康管理、相談を始め、学内の保健衛生管理に関する専門的業務を一体的に行っています。例えば健康診断、応急処置、学校の請求事務や保健に関わる一切の事務業務等です。また、日常生活で起こる不定愁訴や健康問題等を面談によって助言を与え、心身のストレスを解消することも重要な役割を持つと考えます。そのため保健室には専任看護師と学校医(学外待機)、臨床心理士(週二日)が配置され、「からだと心」のあらゆる相談に対応できるように連携を密にして取り組んでいます。

また、健康診断は、学校保健法により毎年定期に実施しています。これは健康であることの確認であり、発病、生活習慣病などを未然に防ぐ目的があり、各種の検査項目がひとりひとりにとって、健康度を示す指標としての意味を考え、自己の健康を振り返る良い機会になっていると思います。

健康で生き生きとした学生生活を送るために、皆様といっしょに考えて行くことができればと願っております。

(保健室 山城みち代)



# Community

## - 宗教センターだより -

### 就任のあいさつ

伊勢田 家城

私は3月31日までは静岡英和女学院の中高の宗教主任をしており、4月より大学の宗教主任となりまりました。赴任してすぐ、入学式、オリエンテーション、始業礼拝、ステューデント・リトリート、そして授業開始と立て続けにあり、無我夢中で過ごしてきた二ヶ月でしたが、ようやく今朝、門に立ておられる守衛さんに「おはようございます」の挨拶から始まり、眺めの良い、またあちこちにお花が植えられている構内を楽しみながら通勤しております。毎朝、礼拝に始まり、昼に昼礼、帰りに終礼と「祈り」に始まり、祈りに終わると中高とはまったく大学は違っているのに少し戸惑い、また学生もキリスト教が初めてという者が多いということもわかりました。しかし、キリスト教に根ざしたこの大学の建学の精神をこれからも大事にしていくことがこの大学の守るべき大事な「隅の親石(礎のこたえ)」と信じております。私は毎週水曜日のチャペルの時間、そしてキリスト教についての授業を大事にし、静



岡英和学院大学に入学して来られ学生たちが、この大学で2年間、ないしは4年間に「愛と奉仕」の精神を養い、神と人、人と人との関係を大事にし、「強く」て「やさしい」人間として、社会に希望をもって飛びだって欲しいと願い、その手伝いが私の与えられた務めであると考えています。現代社会は子どもから大人まで夢がもてない時代だと言いますが、かつてアメリカ合衆国のキング牧師が「私には夢がある」と発したように、キリスト教には人々に、夢をもたせ、希望して生きていくだけの力があると考えます。また、人が命を粗末にする昨今ですが、聖書の教えには私たち一人ひとり神によってどの一人も大切な命としてこの世界に生かされていて、それは決して孤立した命

ではなく共に生きようとして「関わり合い」の中にある命であるとしています。希望が持てない、持たない、命を粗末にする世の風潮の中であってキリスト教教育こそ、一人一人に希望を持たせ、命の大切さを教えることができるものであると考えます。人間が行うことには過ちが伴うことを真摯に受け止めながら、聖書に「知る力と見抜く力とを身につけてあなた方の愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように」とありますような思いをもってこの大学の宗教主任としてこれから歩んでいきたいと考えております。また私自身の研究は東京神学大学3年の時以来、スコットランドにおける宗教改革者ジョン・ノックスについての宗教思想に関心を持ち、大学院の修士論文もノックスの抵抗権についてその後、博士課程後期へ進みつつ、スコットランドのSt Andrews大学大学院(宗教改革についての研究所)においても学んでまいりました。宗教改革運動に興味のある方がいらっしゃったら、共に語り合いたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。



### アジア祈禱日を覚えて

【2009年6月17日(水)のチャペルアワーから】

静岡英和学院大学では毎週水曜日10時半から新館5階の講堂にてチャペルアワーが行われています。学生、教員併せて約300名くらいが集まり、共に心を合わせて讃美歌を歌い、聖書の話に耳を傾け、心静かに神と自分に向き合う時間を大切にしています。

ここに、ご紹介するのは、特別に用意されました6月17日のチャペルアワーについてです。日本には国内の教会間の連絡役と海外の教会との窓口になっている日本キリスト教協議会(以下NCCと明記)という団

体があります。特にNCCではアジアの教会との交流を通してアジアの人々との信頼関係を築く努力をし、またアジア・キリスト教協議会と連携を密にとっています。アジア・キリスト教協議会では、毎年、アジアの一国を選び、その国のための平安を祈っていますが、今年の祈禱国としてスリランカが選ばれました。スリランカは、インド洋上にあつて、インドの真下に流れ落ちる「涙のしずく」のような小さな国です。この国は過去においていろいろな名前と呼ばれてきましたが、その一つが「インド洋の真珠」でした。この日のチャペルアワーでは、礼拝においては、今年

度、静岡英和学院大学に入学してきたスリランカのクリスチャン留学生のふたり(人間社会学科1年R.N.D.ジャヤセーカラさんと短大部現代コミュニケーション学科1年サマラウィクラマ・ダナンジャリさん)に、証(あかし)をしていただきました。礼拝後、続いて、現在、ランカ神学大学で教鞭をとつておられ、ちょうど一時帰国されておられた日本キリスト教団宣教教師の岡田則子先生から、「スリランカ：インド洋の「涙のしずく」と題して、内戦が終わったばかりのスリランカの現状とスリランカのたどってきた過去の歴史について貴重なお話を伺うことができました。最後に先生が私たちに本当の意味での平和とはなにかを問いかけら





れたのが印象的でした。また岡田先生とダナンジャリさんがそれぞれ用意して下さったスリランカの様々な様子 - 人々の苦悩している顔、喜びに満ちた顔、やせた体の

子供達の無邪気な笑顔、内戦終結の無残な様子、美しいスリランカの自然なドーを映し出したフィルムは平和な日本にいる私たちにとって非常に衝撃的なものでした。こ

の日、講堂に集まった者は、三人の話に熱心に聞き入り、最後にスリランカのために祈り、献金を献げました。



【証し】

涙の真珠—スリランカから来て、日本で学ぶようになって  
人間社会学科1年 R.N.D.ジャヤセーカラ

チャペルでお話しする機会を与えられて感謝いたします。私ははじめて日本に来たとき、こんな平和な国が世の中にあるのかとびっくりし、日本人は戦争もなく物も豊富で、日本人は幸せだなと思いました。そして、同時に、自分の国のことを考えてみました。・・・私の国、インド大洋の小さな島国スリランカはなぜ、25年もの間、内戦を行わなければならないのでしょうか。日本の北海道ぐらいの面積という小さな国

がなぜ、北と南に分かれて戦わなければならないのでしょうか。

私は実は日本に来てクリスチャンになりました。この大学に入る前にクリスチャンになったのですが、クリスチャンになる前は、大学では自分のために勉強をしようと思っていました。しかし、クリスチャンになり、聖書を読んでいるうちに、自分だけでなく、相手を思いやる大切さを学びました。私は今、日本で精いっぱい勉強して、4年間、学ん



でスリランカへ帰り、国の平和のために役立つ人になりたいと心から思っています。私は日本のみなさんのことをお祈りしますので、どうか、みなさんはスリランカのために祈ってください。



【チャペルアワーに寄せて】

短い時間でしたが、三人の話によって、スリランカでは、シンハリ族とタミール族の長い間の内戦が続いてきたこと、政府軍とタミール・タイガー(LTTE)の対立によって、民族間の憎悪と殺戮に人々は疲弊し、対人地雷、少年兵士、孤児などの問題を抱えていること、そしてまたインド洋大津波の生々しい傷跡が残っていることなどを知ることができ、なぜ、かつては美しく平和で豊かな「インド洋の真珠」と称されたスリランカという国が「涙のしずく」と称されるようになったかが、わかり、心揺さぶられる思いでした。私たちは平和な国の中に生きていることを改めて思い、そのことに感謝すると共に、祈りを通じて、苦難にある人びとと連帯し、同時に平和を願い、さらに平和をもとめ続けることが大事であることを痛感しました。

生かされている命を大切にすることを世界中の人々が認め合うまでには、どれだけの「時」が必要なのでしょうが、・・・しかし、私たちは必ずその時が来ると信じて隣人と

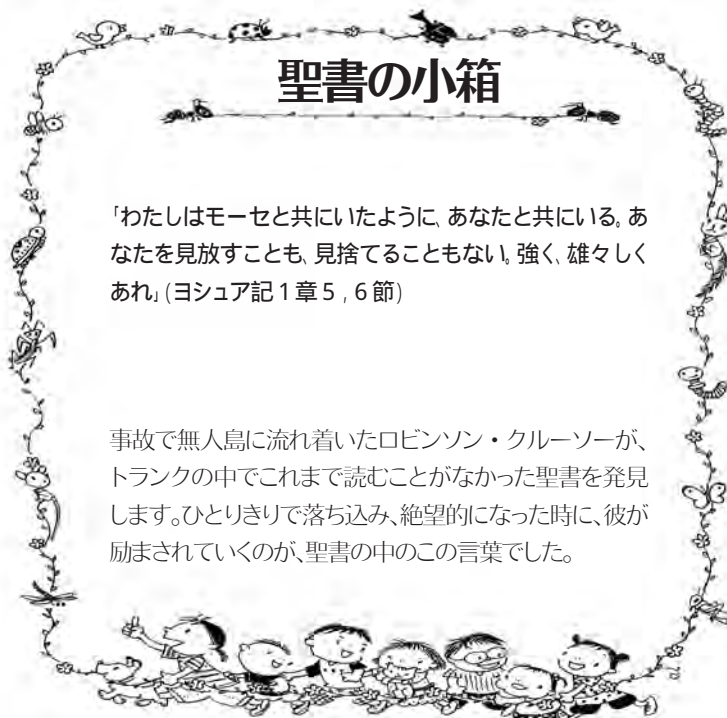
共に、希望をもって日々歩むことが大切なことではないかと心から思います。  
アーメン。  
文責 宗教主任 伊勢田奈緒

聖書の小箱

「わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。強く、雄々しくあれ。」(ヨシュア記 1章 5, 6節)

事故で無人島に流れ着いたロビンソン・クルーソーが、トランクの中でこれまで読むことがなかった聖書を発見します。ひとりきりで落ち込み、絶望的になった時に、彼が励まされていくのが、聖書の中のこの言葉でした。

「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生まれる時、死ぬ時、・・・癒す時、・・・愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時。」旧約聖書コヘレトの言葉 3章 1～8節



# らいぶらりーず・さろん No.1

大学に入学してまもなく、後で恩師となる先生に本の読み方を聞いたことがある。先生は余計なことは言わずに一言、「本は行間を読むこと。そして閉じて読むこと。」と答えてくれた。禅問答であった。これは何かある。だが何があるのかわからない。図書館に行った。

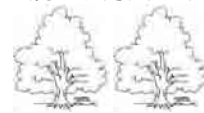
大学1年のときから私は図書館をかなり利用したほうだと思う。ただ、図書館の重厚な机を前に朝から晩まで参考図書と首っ引きになるような利用ではなかった。利用したのはもっぱら図書館の司書の人である。

大学の勉強は、文献に当らなければならないことが飛躍的に増える。自分で膨大な量の蔵書を調べテーマに沿った資料を集めていたのでは埒が明かない。そこで、知りたいことはどんなに些細なことでもまずプロの司書の人に聞くことにした。それから私の図書館通

いが始まった。半年もすると「また来たか」と私の顔はすっかり覚えられてしまっていた。

その司書の人が答えとして出してくれたのが、阿部次郎の「三太郎の日記」という本であった。他人の日記などに興味は全くなかったが義理で読み始めると、まさに行間を読まなければ解らない、本を閉じて考えなければとても太刀打ちできない知的刺激に満ちた本であった。その後様々な本に出会い、しかも行間を読み、閉じて読むように努力しているうちに自分の将来の進むべき道がおぼろげながら見えてきた。

自分が今あるのは、恩師とあの図書館司書の人のおかげである。知的興味を満たす方法に今と昔で大きな違いはない。



## 本は閉じて読む？

人間社会学科 教授 市川充俊

「光文社古典新訳文庫」で古典にチャレンジ！

大学生となった今、やはり古典作品を読みたい（もしくは読まねば）……と思うものの、難解そう、ついつい敬遠しているみなさん！そんなみなさんのために、図書館では「光文社古典新訳文庫」を入れました。この文庫については「カラマーゾフの兄弟」がロングセラーになるなど、どこかで耳にしたことがあるかもしれません。「気取らず、自由に、心の赴くままに、気軽に手に取って楽しめる古典作品を」をモットーに、海外の古典作品（文学から社会科学・哲学まで）

を現代人にとって、できるだけわかりやすい言葉で訳しています。だから今まで敬遠していた人や、かつて挑戦はしたものの挫折してしまった人も、この文庫でぜひチャレンジしてみてもはどうでしょうか。

## 三三通信

静岡新聞データベースを利用しよう

ご存知の方も多いかもしれませんが、大学のホームページの中にある図書館のページから、静岡新聞の記事を検索・閲覧できるようになりました。検索できる記事は、1988年5月1日から前日の夕刊までの記事です。みなさんの学習・研究や調査に活用して下さい。ただし利用できるのはキャンパス内からのアクセスのみです。また使用後は必ずログアウトすることを忘れて下さい。



## まず図書館で気楽に遊んでみよう!

一年生の皆さんは図書館の利用に慣れましたか。授業で出される課題やレポートのことは後回しにして、最初は、気楽に図書館で遊んでみましょう! 図書館にあまり関心のない人も是非!!

まず、空いている時間を利用して図書館の中を歩いてみましょう。館内が何となく自分になじんできたら、次にAVコーナーでDVDやCDを視聴するのも良いかもしれません。黄色いラベルのものは貸出可能なので、カウンターで貸出の手続きをしてみましょう。キャレルやブラウジングの大きな机、それともソファで雑誌や本を読んでみて下さい。時の流れも気にしないで読めたら良いですね。館内のほとんどの資料(本・雑誌・AV等)は、手にとって自由に利用できるの、自分のお気に入りを探してみましょう。こんな感じで利用すれば、図書館はきっと皆さんの書斎になるでしょう。

だんだん慣れてきたらコンピュータのOPAC検索で本を探してみましょう。キーワードを入力して検索

するとかなりの本のデータが画面に出ます。お気に入りの本が見つかったら、本の題名と請求記号を覚えるか、メモをすることです。特に、請求記号は本のラベルの番号で、本の住所だからです。本は請求記号の番号順に並んでいます。このことは大事な事なので忘れないようにしましょう。その本が一階か二階にあるかどうか画面で確認できるので、見落とさないようにしましょう。

図書館での遊びのコツは「静かに楽しく」が原則です。このことを十分守って、まず、気楽に遊んでみてはいかがでしょうか。(きらキララ)

「静かに楽しく」



## ☆学外の方の図書館利用について☆ ようこそ英和学院大学図書館へ!

初めてご利用の際はカウンターで手続きをして下さい。手続きにはご本人を確認できるもの(学生証・健康保険証・運転免許証等)が必要です。

### 【閲覧】

ほとんどの資料は自由に閲覧できます。

資料の貸出はしておりません。

### 【資料のコピー】

当館の資料を著作権法の範囲内で一部コピー(有料)できます。

【利用時間】月曜日～金曜日 9:00～16:30

土曜日 9:00～12:00

【休館日】日曜日・祝日

年末年始等大学の休業日

春夏冬の長期休暇中の一定期間

2月・7月の試験期間中及び3月の一定期間は利用できません。その他臨時で休館することもあります。ご来館の前にご確認下さい。

ご来館の際のお願い

本学は駐車場のスペースに限りがあります。できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

### 【交通アクセス】

しずてつジャストラインバス：静岡日本平線

静岡駅北口(エコービル前)より約20分

東静岡駅南口より10分

『英和学院大学・池田山団地』下車すぐ(正門前)

【問合せ先】TEL: 054-264-8875 (直通)

FAX: 054-263-1765

# 学内ニュース

## 2009年度入学式

2009年度入学式は、4月3日（金）午前10時より、新校舎講堂において開催された。満開の桜並木を通して会場に入った入学生は緊張した様子であった。

清水英之教務部長による開式のことばに始まり、伊勢田奈緒宗教主任による聖書と祈祷、奥田和弘学長による入学許可宣言と続いた。奥田学長による式辞では、大学では知識を身につけてほしいが、その知識とは専門的知識だけではなく、人生を豊かにする知識、さらに人生の深みにいたる知識であるとのメッセージが送られた。来賓の方々から祝辞をいただき、それに応えて人間社会学科の金子恵巳さんによる宣誓があった。

学部	学科	入学者数
人間社会学部	人間社会学科	125
	地域福祉学科	43
短期大学部	現代コミュニケーション学科	88
	食物学科	33

今年度からの新しい試みとして、入学式の後に各学科に分かれて、入学生と出席いただいた保護者の皆様向けの説明会を開催した。それぞれに学科の教育目標についての説明、学生生活上の注意、教員の紹介などが行われ、有意義な時となった。

また、久しぶりに本学キャンパスでの開催となったこともあり、キャンパス内で吹奏楽部の演奏が披露され、またサークルの勧誘も活発に行われるなど、華やかだ中にも活気のある雰囲気であった。

## リトリートを終えて

リトリートでは、同じ学年同士、又は先生方と触れ合う時間が多くもたれました。初めは正直こういう形の交流で何かこれからの為になるのだろうか、と少し疑問を抱いていました。けれど帰って来た今、その疑問は消えています。高校とは違い細かなルールのない宿泊。そこには多くの自由と責任があったように思い

ます。それは大学生生活が始まった頃から感じるようになりました。そんな時、「あ、私は子供としてではなく、一人の人間として扱われるんだな。」と実感し、大きな不安を感じました。けれどリトリートで多くの仲間や先生と触れ合い、私には一緒に高め合う仲間と支えになってくださる先生方がいるんだと感じることが出来ました。

これから自己責任が全てとなっていく中であきらめてしまうことは簡単です。だから今ある夢を私一人だったら簡単にあきらめてしまうかもしれません。けど等身大の同じ様な仲間が居ることで頑張れる気がしました。

そして様々なプログラムの中で耳にした「隣人を自分のように愛しなさい。」という聖句。これは決して、いつも笑っていつも許して、そういう甘さを表すものではないのです。自分が夢を叶えたいと願うように相手もそう思っているはずだから、自分自身が相手の高め合う仲間となるのが自分自身を愛し、隣人をも愛すということになるのではないかと考えさせられました。

2日と、とても短い期間だったけれど中身はとても濃く、もしかしたら人生の中で最も重要な部分を勉強することになったかもしれません。これから2年キリスト教と共に人間として必要な内面のキャリアを育みつつ、自分の外的キャリアを身に付けていけるようこの2日間を大切にしようと思います。

（現代コミュニケーション学科 久保 はな）

